

2022 年度（第 15 回）事業報告

新型コロナによる行動制限の緩和が進み、各団体の活動も元に戻りつつある事と思われます。福祉ネットでも、例会や各部会の集まりは全てリアルまたはハイブリットで開催できました。「集まれないう」という経験をしたことで、顔を見ながら会話することの効果を変えて感じました。おかげで実のある会議が多く、会議が終わってからも立ち話に盛り上がることもありました。

以下、2022 年度の事業計画に掲げた報告をさせていただきます。

【1】 内部研修

(1)定例会の実施報告(年間 6 回) 場所：助け合いネット

月 日	時 間	内容または団体間交流(10 分間スピーチ)	参加人数
5/19	16:30～18:30	事業計画と総会開催の件について	11
7/7	15:30～17:30	第 13 回 富士見ヶ丘コミレス	15
9/1	15:30～17:30	第 14 回 すばる一朱 晴一	11
11/17	15:30～17:30	第 15 回 コープくらしの助け合いの会	12
1/19	15:30～17:30	第 16 回 神戸ライフケア協会	12
3/2	15:30～17:30	事業計画の進捗状況確認	7

(2)役員会の実施報告

月 日	主 な 内 容	参加人数
4/21	次年度役員候補と新年度事業計画について、その他	5
6/16	総会資料の確認と総会当日の役割分担	5

(総会：2022 年 6 月 26 日（日曜日）午後 2 時～4 時 ウェブにて開催)

(3)各部会の実施報告

【生活支援部会】リーダー：コープくらしの助け合いの会/松永(副：COM/鹿嶋)

月 日	内 容	参加人数
8/18	介護予防・日常生活支援総合事業について	12
1/19	「他団体に聞いてみたいこと」アンケートの結果報告	12

(1)、8 月 18 日、生活支援訪問サービスと住民主体訪問サービスの参入を検討中の団体があり、すでに活動をしている団体から話を聞きました。

西須磨だんらんはこの事業を受託したことで、制度外のマイナスを埋めることができたということでした。また介護保険サービスを行っている団体は、事務量が多く煩雑で負担が大きいことや若い人を確保するための人件費が大きくなっている事などを聞き、新たな課題も見えてきました。当日は、神戸市介護保険課から三谷係長と岩林さんがオブザーバーとして参加されました。

(2)、「他団体に聞いてみたいこと」として、各団体が日頃の活動で気になっている質問をメールで寄せ合い、8 団体がアンケートに回答をしました。(別表あり)

1 月 19 日の例会で部会長から結果報告があり、各団体の参考になりました。

生活支援部会「他団体に聞いてみたいこと」アンケートの結果報告①

質 問	コープ 松永	COM 奥山・鹿島	YWCA 寺内	リーフグリーン麻田
事務局が休みの翌日のキャンセルはどうか対応している？	朝一の留守電まではOKで対応。COの業務用携帯に連絡が入ることもある	電話は24時間転送で職員が受ける	携帯電話に転送。休日・夜間も電話対応（まごの手）	時間外は転送。スタッフ間はグループLINEで対応
支援者が自宅訪問したが出てこない場合は？	支援者が事務局に連絡し、事務局が対応	支援者が事務局に連絡し、事務局が対応。30分待機する	支援者が事務局に連絡。支援者は30分待機ののち、メモを入れて帰る。場合により緊急対応（まごの手）	支援者が事務局に連絡し、事務局が対応。10分程度待機。キャンセル料あり
支援者と利用者の直接交渉の事例	コロナで活動中止中に庭仕事を行ったので嚴重注意した	発覚した場合はコーディネーターが改めて交渉し決定する	事後報告で認める場合もある。（まごの手）	双方に説明。保障問題の説明し、納得してもらった。
利用者が支援者と個人的な関係を持ちたがる場合	個人的な付き合いは一切禁止	禁止	元々の活動仲間の場合は禁止事項になっていない（生活支援わいわい）	禁止。利用者に説明し、納得してもらう
支援者の入会金・年会費の有無	入会金なし 年会費500円	なし	年会費2000円（生活支援わいわい）	年会費3000円
支援者の電話番号を聞きたがる利用者への対応は？	「活動会員のお約束」で教えないことになってる	基本禁止。事務局を通すように伝える	禁止（まごの手） ルールはないが元々の活動仲間以外は教えない（生活支援わいわい）	事務局電話で24時間対応にしている
コーディネーターは利用者に電話番号を知らせているか？	業務用携帯電話を貸与	裁量に任せるが、基本は事務局に連絡をすることになっている	個人の携帯番号は知らせない	責任者が事務局の携帯電話を持っている
買い物支援。利用者が支援者に電話で買い物リストを伝えたい場合	利用者宅で確認して代金を預かる。またはコーディネーターが代理で聞く	基本的にコーディネーターが買い物リストを支援者に伝える	訪問してから買い物リストを聞く	責任者が対応
研修の教材について	「活動会員のお約束」を年度更新時に読み合わせをする	最初の説明会で使用した資料で理念と方針を説明	「ホームヘルパーきほんのき」の他、都度作成している（まごの手） 特に教材は使用していない。今後は検討（生活支援わいわい）	独自で資料を集めてレジュメ作成している

生活支援部会「他団体に聞いてみたいこと」アンケートの結果報告②

質 問	花たば 田中	だんらん 宗政	助け合いネット井上	ライフケア 桧垣
事務局が休みの翌日のキャンセルはどうか対応している？	連絡内容を聞いてもらい、月曜午前中に対応	事務局の電話を宗政に転送して対応	基本は定休日を伝え、営業時間内にお願いしている	事務所の携帯
支援者が自宅訪問したが出てこない場合は？	支援者が事務局に連絡し、事務局が対応。場合によりケアマネ等に連絡	支援者が事務局に連絡し、事務局が対応。	支援者が事務局に連絡し、事務局が対応。メモを入れて帰る	事務所から対応。30分待機して出てこない場合は不在票を入れる
支援者と利用者の直接交渉の事例	両者に説明して理解してもらう	食事に行った。目をつぶった。	数件ある。数年経過して発覚するなど悪質な事例もある	厳重注意。利用者に伝えて担当者交代
利用者が支援者と個人的な関係を持ちたがる場合	禁止。事例なし	お断りする	契約書で禁止している	禁止。担当者交代
支援者の入会金・年会費の有無	年会費2000円	入会金2000円 年会費3000円	なし	なし
支援者の電話番号を聞きたがる利用者への対応は？	口頭で説明	聞かれたらお断りするように指導	基本お断りをして、事務局が対応	基本教えない。事務局通すこと徹底
コーディネーターは利用者に電話番号を知らせているか？	なし	内容により教える場合がある	基本は知らせない。必要な場合は「184」をつけてダイヤルする	
買い物支援。利用者が支援者に電話で買い物リストを伝えたい場合	本部が聞き、支援者に伝える	支援者が希望を聞くことが多い	コーディネーターが買い物リストを支援者に伝える。必要な場合は「184」をつけてダイヤルする	事務所が聞いて、支援者に伝える。
研修の教材について	使っていない	生活支援訪問サービスの研修教材とネット活用	支援者の事例発表とスタッフがまとめた資料	ビデオ購入。ネット活用

【居住支援部会】リーダー：（公）神戸YWCA/寺内(副・助け合いネット/村山)

6月25日、ゲストの宝塚NPOセンター中山さんや新たに福祉ネットに入会されたPHD協会の坂西さん等、14団体で団体紹介と情報交換を行いました。2018年度から福祉ネットで居住支援の取り組みを始めて、5年が過ぎました。今年度の部会は、神戸市居住支援協議会と兵庫県居住支援協議会が主催する研修会等に参加することで、居住支援部会に替えました。次年度は各団体の情報交換や経験交流、研修を行い、今後の展開を考えたいと思います。

月 日	主 催	内 容
7/11	神戸市居住支援協議会	居住支援シンポジウム2022 高齢者の安定居住に向けて
7/28	ひょうご住まいづくり協議会	令和4年度居住支援協議会拡大会議
10/11	神戸市居住支援協議会	障害者の居住支援に関する勉強会
2/27	ひょうご住まいづくり協議会	令和4年度居住支援団体活動報告会

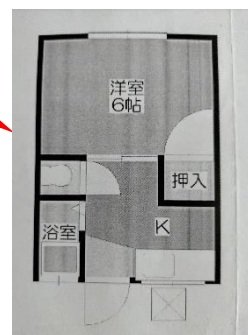
【居場所部会】リーダー：NPO ひまわり会/井上(副：つどいの家/藤井)

月 日	場 所	内 容	参加人数
10/6	花たば	「ほっと花たば」訪問	9
12/1	つどいの家 (ZOOM 参加)	八幡会館（JR 六甲道）の貸会場で情報交換の後、サポートステーション灘・つどいの家の新拠点訪問	7

【NPO 法人 サポートステーション灘・つどいの家の訪問レポート】

つどいの家は1999年に設立されました。震災時、避難所になっていた「老人いこいの家」が、これからは高齢者だけでなく地域みんなが集う場所になると、「つどいの家」が設立されました。この度、大規模改修工事が行われることになりました。

現在は「六甲光ハイツ」(写真右)を借りて、週1回つどい食堂で弁当配布と月3回の健康マージャン等を実施しています。1K、18.1㎡の台所で40食の弁当を作っているそうです。他にも「地域福祉センター」や「おせっカフェ」を借りて、介護予防事業や小学生の学習支援など活動が広がっています。



【NPO 法人花たばの訪問レポート】

2021年9月にオープンした「ほっと花たば」は阪急王子公園駅を東へ進んだ「灘中央市場」の東の角にあるガラス張りのお店です。

まず目に飛び込んだのは壁面を活用した大きな掲示板でした(写真下)。そして店の外にもリサイクルの衣類や1冊50円の古本が並び、思わず手にとりたくなる楽しいショップです。



中に入ると 100 円コーヒーコーナーもあり、2 階は小中学生の居場所や囲碁・マージャン教室など、子どもから高齢者までの居場所になっています。さっそく商店街の人とも仲良くなり、活性化にも貢献しているようでした。



【2】地域課題発掘事業

(1) 神戸市介護保険課と話し合いの継続

8 月 18 日の生活支援部会に神戸市介護保険課の三谷さんと岩林さんがオブザーバーとして、参加されました。生活支援部会の話し合いを聞いていただき、最後に神戸市の今後の展望を伺いましたが、国の方針に従い、神戸市独自のサービスは考えていないとのことでした。

(2) 神戸市住宅政策課と意見交換

居住支援部会で報告（上記参照）

【3】ネットワーク事業

(1) 各団体の勉強会・講演会に共催

「見えない子どもの貧困と地域共生社会の実現」

日時：10 月 9 日（日）13：30～15：30 会場：御影公会堂

主催：東灘地域助け合いネットワーク 共催：ひょうごん福祉ネット

(2) 住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会

1、「令和 4 年度支え合いを広げる住民主体の生活支援フォーラム」

日時：10 月 21 日（金）13：00～17：00 オンライン会議

生活支援と配食サービス、移動支援の 3 つの分科会に分かれてのフォーラムを開催しました。

2、幹事会「行政説明」委員会 村山・宗政

・子ども家庭庁：制度施策と住民参加型への期待

・厚生労働省：重層的支援体制整備事業の制度の概要と住民参加型への期待

(3) HYOGON の運営委員

福祉ネットから花たばの須見さんを推薦し、情報共有をしてきました。

今後は推薦団体は出さず、各団体が HYOGON の行事に積極的に参加するよう促していきます。

2022 年度 構成団体一覧

団体会員名			
1	(特)てみずの会	13	(特)リーフグリーン
2	(認特)東灘地域助け合いネットワーク	14	(特)神戸西助け合いネットワーク
3	コープくらしの助け合いの会	15	(特)福祉ネットワーク西須磨だんらん
4	(特)神戸ライフ・ケア協会ゆとり	16	(特)ゆいまーる神戸
5	(認特)はんしん高齢者くらしの相談室	17	(特)福祉ネット星が丘
6	(特)ゆうネット	18	(特)西すず安心センター
7	(特)サポートステーション灘・つどいの家	19	富士見ヶ丘コミレス
8	(特)花たば	20	NPOひまわり会
9	鶴甲サポートセンター	21	(公)PHD 協会 (NEW)
10	(特)COM総合福祉研究所	22	ひょうごコミュニティ財団
11	(公)神戸YWCA	23	すばる ー朱晴ー
12	神戸コミュニティラボ	24	ひょうご・まち・くらし研究所